

平成 28 年度国立大学法人等施設整備費予算案

◆予算額（国立大学法人等施設整備費）

平成28年度予算(案)額 41,800百万円（前年度 48,690百万円）

[他に、財政融資資金37,763百万円（前年度41,147百万円）]

◆内 容

平成28年度を初年度とする次期国立大学法人等施設整備5か年計画（平成28～32年度）策定に向けた検討の状況を踏まえ、著しく進行する国立大学等施設の老朽化に対し、安全・安心な教育研究環境の基盤の長寿命化や耐震化を図りつつ、国立大学法人等の機能強化等へ対応するため、最先端研究施設の整備や附属病院の再開発整備など、計画的・重点的な施設整備を推進する。

【国立大学法人等施設整備事業】

◆安全・安心な教育研究環境の基盤の整備

- 施設の耐震化（非構造部材の耐震対策含む）や老朽施設の改善
- 機能劣化の著しい基幹設備（ライフライン）の計画的な更新等

◆国立大学等の機能強化等変化への対応

- 高度化・多様化する教育研究活動に対応する最先端研究施設の整備
- 地域医療・先端医療等の拠点となる附属病院の再開発整備

◆予定事業数

<一般会計>

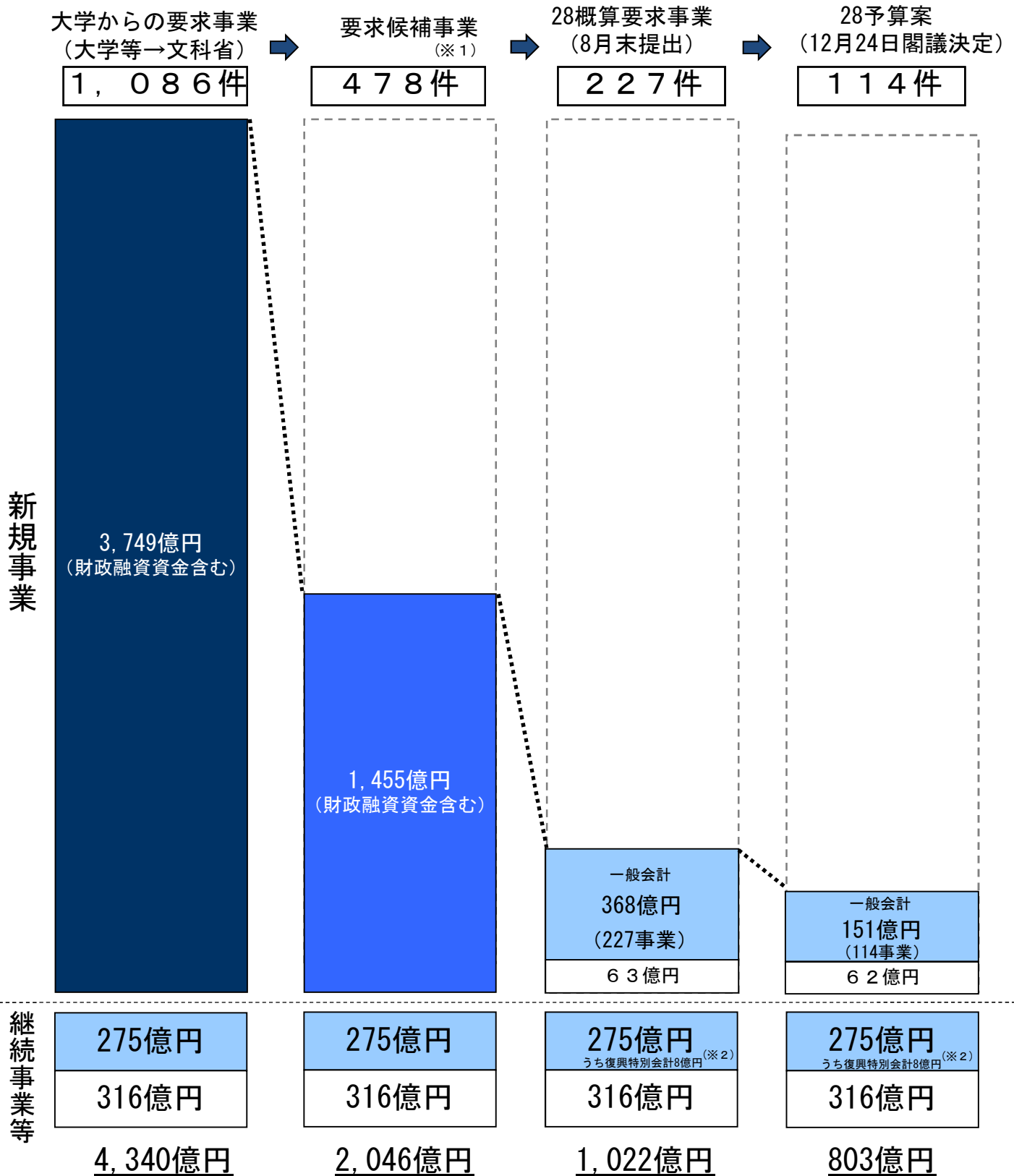
○新規事業 114事業

- | | |
|---------------------|------|
| ・耐震対策（非構造部材の耐震対策含む） | 22事業 |
| ・老朽化対策等 | 69事業 |
| ・最先端研究施設の整備 | 2事業 |
| ・大学附属病院の再生 | 21事業 |

○継続事業 73事業

平成28年度予算の編成過程

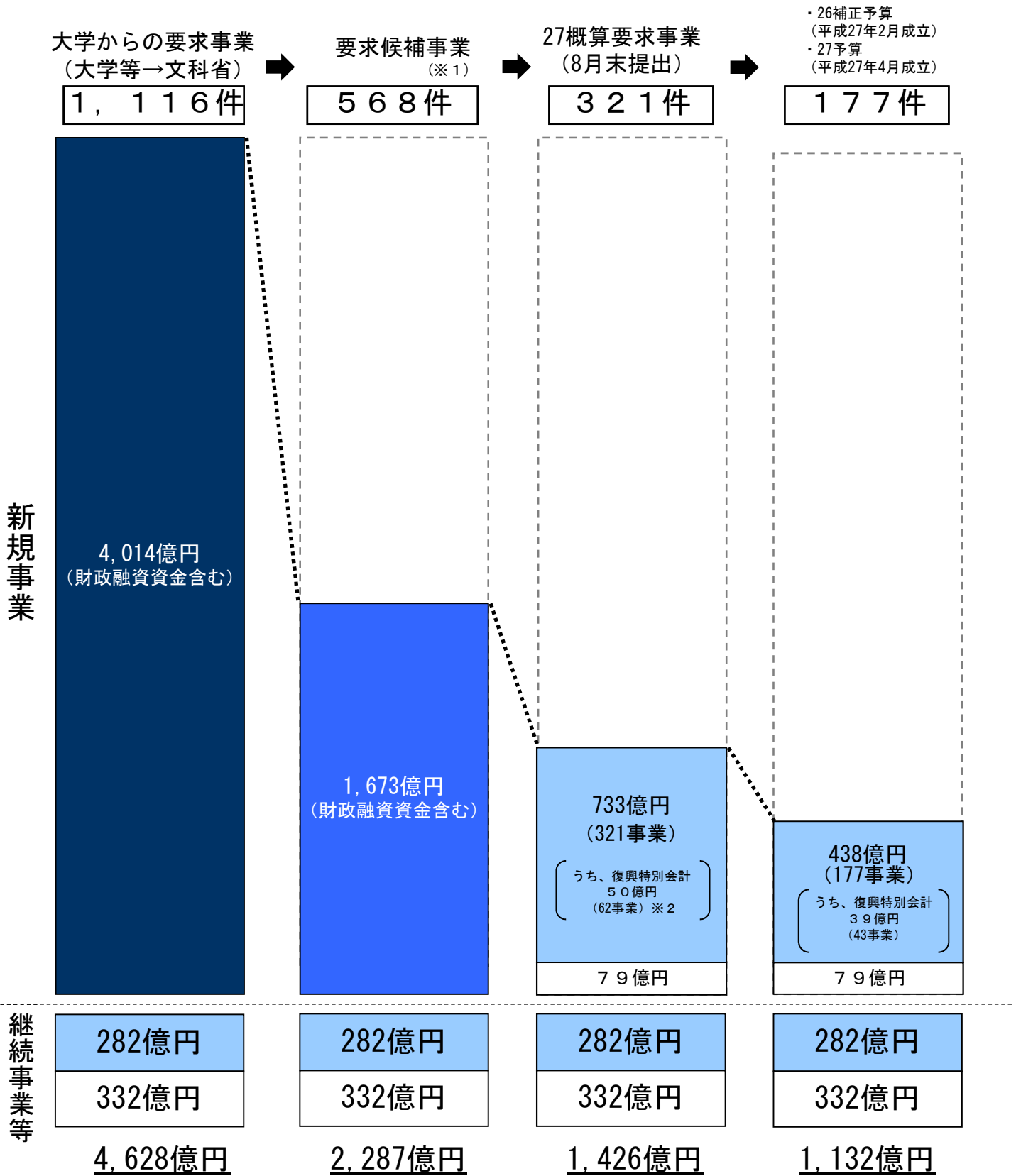
補助金	一般事業（教育研究施設）
財政融資資金	病院事業（診療施設）



※1 学識経験者により構成される検討会において、各法人の取組、個別事業の必要性・緊急性等について適正に評価（S、A、B、Cの4段階評価）した結果、Sと判断された事業。ただし、耐震化事業については、Aと判断された事業も含む。
 ※2 復興特別会計は復興庁一括計上分。
 ※3 四捨五入のため合計は一致しない。

平成27年度国立大学法人等施設整備予算編成の過程（参考）

補助金
財政融資資金



※1 学識経験者により構成される検討会において、各法人の取組、個別事業の必要性・緊急性等について適正に評価（S、A、B、Cの4段階評価）した結果、Sと判断された事業。ただし、耐震化事業については、Aと判断された事業も含む。
 ※2 62件のうち1件は災害復旧事業のため、大学からの要求事業1,116件の外数。
 ※3 四捨五入のため合計は一致しない。